

歌舞伎町の「駆け込み寺」

よろず相談員養成



日本最大級の歓楽街、東京・歌舞伎町（新宿区）でよろず相談に無料で応じている一般社団法人「日本駆け込み寺」が、六月に相談員養成学校を開く。相談を始めてから十年の節目に、仙台など全国に活動を広げるとともに、無休で対応できるよう充実させることが目的。顔とってきた玄葉代表（左）は「いつでもつながる状態にしたいねん」と願う。

（鈴木学）

配偶者や恋人らから「債務、引きこもり」せられるままさまさまの相談の嵐（DV）も多量 「駆け込み寺」に相談。昨年七月、日本財

全国展開へ 6月学校開設



①「養成学校」の募集チラシを持ち、有末の参加を呼び掛ける玄葉代表

②歌舞伎町の「駆け込み寺」東京部新宿区で

同の支援を受け、無料にしてから増えた。玄の環境が変わる中、白代表をモデルにした舞辺さん主催のドラマ放送などで認知度も上がっており、ことは一日当たりの相談が以前の五割増。連方からの相談も少なくない。ことし二月、東日本

七月の仙台を振り出した。玄は風俗の仕事から抜ければならない悩みを打ち明けた。女性を継続的に見守る必要性を強く感じた玄さんは、相談員養成と協力が緊急の課題と考えた。

「気づいたんや。それを知るんが他人に」。在日韓国人の生い立ちからの差別や思い、思っねん」と玄さん。じめ、約二千の職種を握り歩き、金融などの会社を起した経験から悩む人の救済を始め「たった一人の自分八万字程度にまとも、分がたった一人のあなEメール、郵送で申したを救うのだ」との信込む。受講料は六万念で、〇二年、「駆け込み寺」の前身のNP〇を充足。以来、受け日本駆け込み寺（電03た相談は十年で二万件（52291）5720に上る。

大震災の被災地の宮城しに全国の歓楽街に支那から来た「十代の女部を設ける意向だ。現「駆け込み寺相談員養成学校」。募集二十リバリーヘルス」勤町の「寺」では平日は人、講座は初・中・上め。仕事柄太ることに十一時間、土曜は終夜級の三段階で、深刻な恐怖を覚え、緊急障害対応だが、二十四時間問題も扱ったため、初級に近い状態に陥っている。傷が浅いでも療学二十時間、実地研修九十六時間を予定。初級で「寺」公認